

銀座街づくり会議

銀座デザイン協議会

2004—2014



## ごあいさつ

銀座は明治以来、全国の繁華街・商店街の象徴として皆様に愛されてまいりました。街の歴史をふまえ伝統を大切にしながらも変化をおそれず、常に先進的であり情報発信をし続けてきたからです。その独自の発展は、個々の商店が銀座の街を愛し、その歴史によってつくられた場所性を大事にし、「銀座らしさとは何か」を常に考えながら商売を営んできたこと、また通り会・町会・業界団体をはじめとするさまざまな団体によって、街の将来や課題を皆で話し合うプロセスからつちかわれてきたものです。それらは「銀座フィルター」とも名づけられるべき、目に見えないフィルターとなって、銀座らしい街並みをつくりあげてきました。

しかし、昨今、経済状況や国際化の進展ばかりでなく、地域環境を視野に入れた都市計画や交通計画の考え方、そしてライフスタイルの価値観等が大きく変わってきているなかにおいて、これまで街が共有してきた「銀座らしさ」とは何かということがあらためて問われています。さらに銀座通りの改修問題、交通や駐車の問題、広告看板や音声の規制の問題等、銀座にも目に見えないフィルターだけでは対処しきれない課題が生まれてきています。

銀座街づくり会議は2004年の設立以来、銀座で代々商売を営む者、銀座に住む人、銀座で働く人、銀座に新たに入ってきてくださる方々、銀座にいらしてくださるお客様が、ともに共有できる銀座将来像を描き、銀座をよりよい街としてゆくための議論を、日々続けています。また2006年には、中央区より指定を受け銀座デザイン協議会を発足させ、中央区市街地開発事業指導要綱に基づく事前協議を行っています（新築建築物および確認申請を伴う工作物、広告デザイン変更等）。

現在、銀座街づくり会議では、銀座デザイン協議会における協議によって抽出される街の課題を精査し、行政と協力して地域のルールづくりに取り組むほか、歩いて楽しい街・銀座の交通問題、オリンピックを控えますます高まる国際観光、銀座文化の振興に、よりいっそう精力的に取り組んでいます。

2014年7月

銀座街づくり会議 評議会議長 谷澤 信一



## 地区計画の改正

90年代後半、1963年（容積率制度が創設された年）以前に建てられた銀座の建物の多くは、利用容積率が指定容積率を超えた、いわゆる既存不適格建築物となり、建て替えても現状よりも少ない容積率しか得られないため、結果として建て替えられない状態が続いていました。

そこで1998年、中央区は銀座に、機能更新型高度利用地区ならびに街並み誘導型地区計画という制度を導入しました。このことによって既存不適格建築物の更新が可能となりました。具体的な数値策定にあたっては、銀座通連合会が中心となって中央区と協議をすすめ、通りごとに建築物の最高高さ、壁面後退値、誘導用途による容積率の緩和値を決定しました。その結果、銀座における建物の最高高さは56メートルとなりました。これを私たちは地区計画「銀座ルール」と呼んでいます。

ところが、特定街区と総合設計という制度を使えば特例を認める、という例外規定があったため、2003年、都市再生特別措置法を利用した大規模超高層ビル提案が起りました。このことをきっかけとして、全銀座会は「銀座街づくり会議」を設立し、銀座に超高層ビルがふさわしいかどうかを考えるための活動を開始したのです。

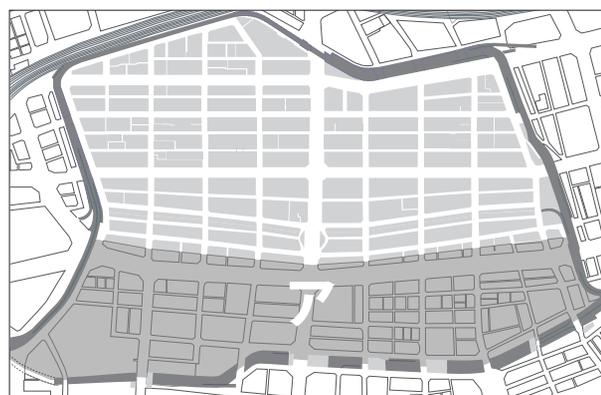
銀座街づくり会議は専門家のご協力を得て調査やワークショップをすすめるとともに、数多くのシンポジウムや勉強会を開催して銀座内外の議論を巻き起こしました。その結果、中央区も地区計画を改正するための地元との協議に乗り出したのです。

銀座街づくり会議の粘り強い活動と中央区との協議により、2006年11月、地区計画は改正に至り、銀座では特定街区と総合設計の例外なく、最高高さは56メートル（屋上工作物を含め66メートル）と定められました。ただし、昭和通り以東（下図のA地区）については「文化等の維持・継承に寄与する大規模開発」に限り、高さの例外を認めることとしましたが、該当する歌舞伎座の建て替えに際しても、銀座街づくり会議は松竹・歌舞伎座ときめ細かい折衝を続け、理由を明らかにしたうえで、例外の高さを認めたのです。



高度利用地区及び地区計画の区域

- A地区** 高度利用地区+街並み誘導型地区計画の区域
  - ・にぎわいと活力のある都心商業機能の再生
  - ・都心商業地域にふさわしい街並みの形成
- B地区** 用途別容積型地区計画+街並み誘導型地区計画の区域
  - ・商業業務住宅のバランスある複合型市街地の形成
  - ・都市型住宅の積極的誘導
  - ・複合市街地にふさわしい街並みの形成



文化等の維持・継承に寄与する大規模開発に限り高さの例外を認める地区

## 銀座デザイン協議会の運営と「銀座デザインルール」の策定

地区計画改正協議にあたり、銀座街づくり会議は中央区に対し、地区計画の数値だけで決められない「景観デザイン」について、銀座らしいかどうか地元目で判断する機関の設立を要望しました。協議の結果中央区は、中央区市街地開発事業指導要綱に「デザイン協議会」制度を位置付けました。

中央区市街地開発事業指導要綱とは、敷地面積100m<sup>2</sup>以上の新築建築物および確認申請を伴う工作物は、確認申請前に中央区に届け出ることを定めたものですが、そのプロセスに地元デザイン協議会との協議を組み込むことにしたのです（6ページ参照）。こうすれば、ほとんどの建物は、地元との合意なしでは、中央区との合意・指導の手続きに進めないことになります。

銀座街づくり会議は、ただちに「銀座デザイン協議会」設立を申請し、中央区長は「デザイン協議会設置基準」に従って、「銀座デザイン協議会」を指名しました。

銀座街づくり会議では、自前で事務局を設け、専門家のアドバイスを受けながら、2006年11月の設立以来、現在までに約1,120件の申請を受け付け協議しています。要綱に義務付けられていないにもかかわらず、「デザイン変更」のみを申請して下さる事業者も多く、歩行者に影響を与える景観に対する事前協議という意図をご理解くださり、ご協力くださっていることがわかります。

2008年には「銀座デザインルール」を策定いたしました。このルールは数値や色見本、言葉等によるデザイン規制を記したのではなく、銀座の歴史と成り立ちに基づいて、銀座がどのような基本姿勢でまちづくりを行っているか、これまでの協議事例をふまえ、銀座の考える都市デザインの方向性や街並みに対する考え方を示し、銀座デザイン協議会が中央区に対して意見具申するうえでの判断基準をとりまとめたものです。その後、事例を積み重ねて2011年に第二版を発行しました。

## シンポジウム開催と啓発・広報活動

銀座街づくり会議が主催・共催したシンポジウムは、設立直前の2003年から現在まで、28回を数えます。時々のまちづくり課題に応じた専門家による講演と銀座の人達とのパネルディスカッションは地域への啓発活動になるとともに、地域の人たちがオープンに議論する場ともなっています。

年に数回開催される銀座街づくり会議評議会では、銀座デザイン協議会における協議や、その他の外的要因から浮かび上がった街の課題を専門家も交えて議論したうえで、全銀座会にて街の意思として決定されています。街の意思は行政に伝えられ、継続的な協議・連携へとつながっています。

地域内の情報共有のためにはファックス送信によるニューズレターを発行しています。通り会・町会によっては未だIT環境を整えていない団体、事務局のない会もあるため、受け取ってすぐ読めてコピー配布できるように配慮したメディアです。一方、ホームページの充実にも努め、銀座デザイン協議会の申請もHP上からできるように工夫しています。

# 活動の意義

銀座街づくり会議・銀座デザイン協議会の活動は、成熟時代のまちづくりに大きな示唆を提供するものであり、独創的かつ先進的なまちづくりの取り組みとして全国から注目を集めています。

## ①地域に対するまちづくり啓発活動と、合意形成の場の成立

銀座街づくり会議・銀座デザイン協議会では、行政や専門家の力を借りながらも依存することなく、自ら学びとる姿勢をもって数多くのシンポジウムを開催し、地域の人たちへの啓発活動の場とするとともに、オープンな議論の場と合意形成の場をつくりあげてきました。毎回の参加者は地域の人を中心に100名以上を数え、地域の活動として定着しています。

一方、銀座街づくり会議評議会で議論したことは全銀座会に報告され、全銀座会において意思決定されるという合意形成の手続きができあがっています。「課題の発見→啓発活動→議論の巻き起こし→地域の合意形成→行政との連携」というプロセスは、恒常的に持続しています。これらはひとえに、地域の人々のまちづくりへの熱意と、それを維持しようとするコミュニティ力の存在によるものです。

## ②要綱に基づく、地域主体によるデザイン協議の実践

銀座デザイン協議会による協議の根拠は、中央区の要綱です（8ページ参照）。銀座デザイン協議会は、現在まで行政からの人的・経済的支援は受けず、専門家の手を借りながらも地元組織が主体となって、地域らしい街並みデザインと空間の質を、数値や色見本などの基準ではなく、各事業者のオリジナリティを大切にしながらも一件審査の積み重ねによって、調和を乱すものはコントロールしようとしているところに特徴があります。

設立以来8年、約1,120件の案件のうち協議が不調に終わったものは数例のみです。このように数多くの案件を扱っているばかりでなく、協議が実効的な仕組みとして機能しているという実績は全国的にも稀有といえます。さらに、申請義務のない案件の申請が増加してきていますが、事業者の皆様が銀座らしい景観づくりに協力しようとする意思をもってご協力くださっていることを示しています。

## ③「銀座デザインルール」の策定と更新

「銀座デザインルール」は銀座都市デザインの考え方、街づくりの経緯を明文化し外部に発信・共有するツールであるとともに、地域内部の意識を高め共有化するツールともなっています。「協議の経験と事例の積み重ねによって熟成させていくべきも

のであると同時に、ルール自体を新しい案件の提案に即して、常に見直し、再考していくべきもの」と位置づけ、初版から2年後、大幅に改稿して第二版を刊行することができました。今後とも更新してゆくことをめざします。

デザイン協議における課題は常にフィードバックされ、議論され、デザインルールを進化させ成熟させていきます。全銀座会に関わるまちづくりの担い手たちが、新陳代謝する街の変化、時代の変化に合わせ、街を成熟させてゆくプロセスをつくりあげています。

#### ④行政・専門家との連携

銀座街づくり会議・銀座デザイン協議会では当初より、専門家の方にご協力をいただいています。地域の意思を決めるのはあくまで地域の人達ですが、だからこそいっそう、専門家はそれに応えて行政や事業者と地域の間を戦略的につないで合意形成の道筋へと導き、銀座デザイン協議会運営を支え、新たな課題に常時アドバイスを重ねるといった良好な関係が生まれています。

一方、行政に対しても銀座街づくり会議・銀座デザイン協議会は「陳情型ではなく対等に議論する」という姿勢をもち、自分達の意味をもって行政と議論してきています。

まちづくりにおける行政—地域—専門家の連携の新しいあり方をつくりだしていきます。

#### ⑤協議型まちづくりの実現

銀座街づくり会議・銀座デザイン協議会では、個々の建物や広告のデザインだけでなく、群としての建物や街並みに連なる広告の秩序、道路や道路工作物など街全体の空間デザインの一体性に気を配っています。しかし、これらについての銀座の意向は、行政の支援なしには実現できません。建築物、広告物のデザインについては、銀座デザイン協議会の仕組みによって、行政手続きの一環を担うよう位置づけられ、協議型の手続きができあがっています。

銀座街づくり会議は、銀座全体空間の調和に努めるため、行政では各部門別に行われる個々の事業に対しても意見を述べています。今後は、LRTやBRTの導入など、銀座の街の活性化と景観の維持改善に決定的な影響を与える交通問題などについても、行政との協議による決定が行われるよう、区に対してお願いし、現在、協議型で進行しています。

# 銀座街づくり会議 2004-2014の記録

## 1) 評議会の開催

銀座にはさまざまなまちづくり課題があります。たとえば、現在の銀座まちづくりの骨格を決めている地区計画「銀座ルール」や駐車場「銀座ルール」なども、現在のものが完成型ではなく、さまざまな検討課題を残していると考えています。

また、交通問題（荷捌き駐車場、快適な歩行空間づくり、基幹的交通システム等）のあり方、銀座における文化の意味と文化活動の育成、建物用途（オフィスや住宅）と地区計画の関係等も大きな課題です。

その他にも、日常的に起こるさまざまな課題に対応するため、2004年発足より現在までに、専門家を交えて50回以上の評議会を重ね、方針を議論しています。評議会にて話し合われたことは全銀座会で報告され、最終的に意思決定されます。また、大規模開発案件や重要案件のデザイン協議の方針もここで話し合われます。

### ◆評議会開催記録

第1回	2004年3月12日	第21回	2007年9月25日	第40回	2011年3月22日
第2回	2004年8月5日	第22回	2007年12月14日	第41回	2011年4月8日
第3回	2004年9月24日	第23回	2008年3月10日	第42回	2011年9月9日
第4回	2004年12月17日	第24回-1	2008年6月11日	第43回	2012年2月3日
第5回	2005年2月4日	第24回-2	2008年10月3日	第44回	2012年5月14日
第6回	2005年5月13日	第25回	2008年10月16日	第45回	2012年7月19日
第7回	2005年8月9日	第26回	2008年11月20日	第46回	2012年11月1日
第8回	2005年10月18日	第27回	2008年12月18日	第47回	2012年12月18日
第9回	2005年12月9日	第28回	2009年1月29日	第48回	2013年2月5日
第10回	2006年1月13日	第29回	2009年2月26日	第49回	2013年7月12日
第11回	2006年2月10日	第30回	2009年3月26日	第50回	2013年11月25日
第12回	2006年4月10日	第31回	2009年4月23日	第51回	2014年4月18日
第13回	2006年7月25日	第32回	2009年6月22日		
第14回	2006年9月29日	第33回	2009年9月29日		
第15回	2006年10月23日	第34回	2009年11月30日		
第16回	2006年12月4日	第35回	2010年2月16日		
第17回	2007年1月24日	第36回	2010年4月26日		
第18回	2007年3月1日	第37回	2010年7月30日		
第19回	2007年4月18日	第38回	2010年8月25日		
第20回	2007年7月10日	第39回	2010年12月3日		

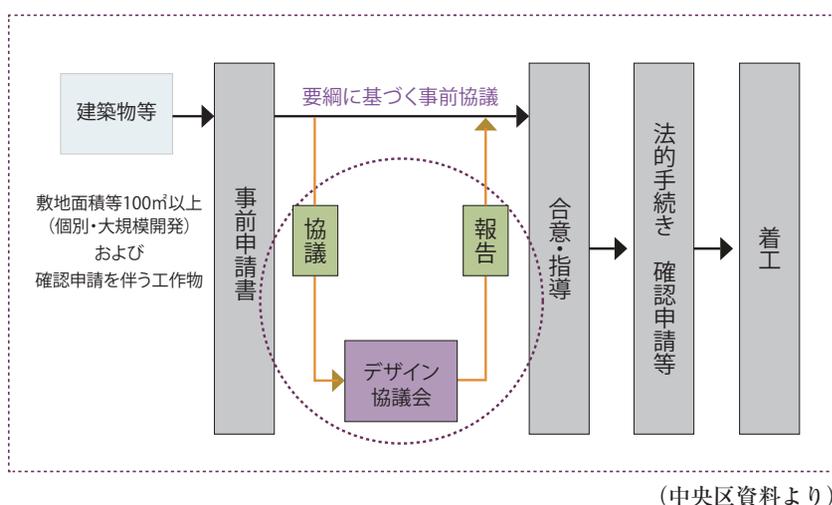
## 2) 銀座デザイン協議会の運営

中央区市街地開発事業指導要綱に基づき、中央区長より指定を受けて2006年11月に設立した銀座デザイン協議会の運営を行っています。

銀座デザイン協議会とは、一定規模以上の開発計画および工作物について、開発業者と協議を行いながら、銀座の街にふさわしい計画や広告デザインのあり方を模索するものです。

発足以来現在までに、約1,120件の案件申請を受け付けてきました(資料参照)。要綱で定められた協議対象は、100㎡以上となる敷地面積に計画する建築物および建築申請を伴う工作物ですが、銀座デザイン協議会では、実際に景観に影響を及ぼすものとして、東京都屋外広告物条例の対象となるような大規模な壁面広告・屋上広告の貼り替え、また、外装のリニューアル等、中央区市街地事業開発要綱では協議対象とされていない案件についても、協議を呼びかけています。

### ◆デザイン協議会の仕組み



### ◆銀座デザイン協議会の対象

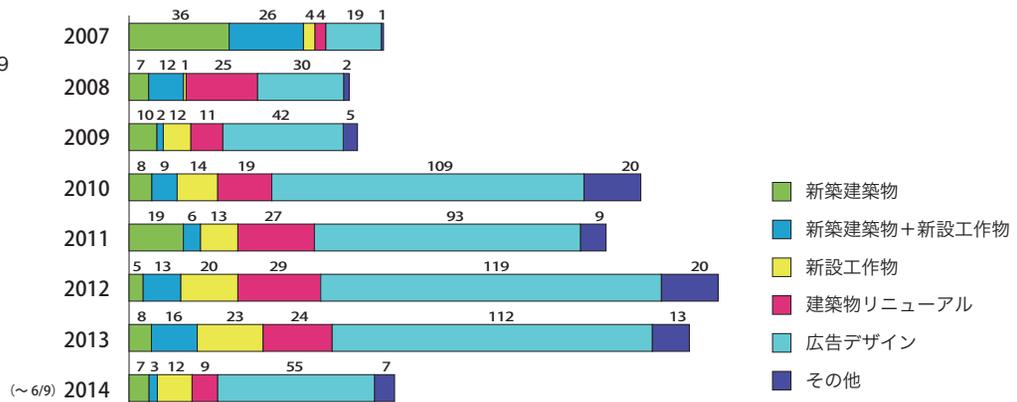
- ・中央区市街地開発事業指導要綱で定められている範囲
  - 銀座1～8丁目のエリア
  - 敷地面積100㎡以上の新築建築物および確認申請を伴う工作物
- ・実際に対応している案件
  - ① 100㎡以下の規模の建物
  - ② 申請の必要のない工作物
  - ③ テナント変更などによる、建築物外装のリニューアル工事
  - ④ 壁面や屋上の広告デザイン変更
  - ⑤ 仮囲いへのグラフィック・広告
  - ⑥ 解体工事、新築工事の説明
  - ⑦ イベントの実施
  - ⑧ その他の相談

◆銀座デザイン協議会対応件数

デザイン協議会発足前	2003.4 ~ 2006.11 : 約 25	
デザイン協議会発足後	~ (2006.11 ~) 2007 : 89	
	2008 : 77	
	2009 : 80	
	2010 : 179	
	2011 : 167	
	2012 : 207	
	2013 : 196	
	(~ 2014.6.9) 2014 : 93	<b>合計 約 1,113 件</b>

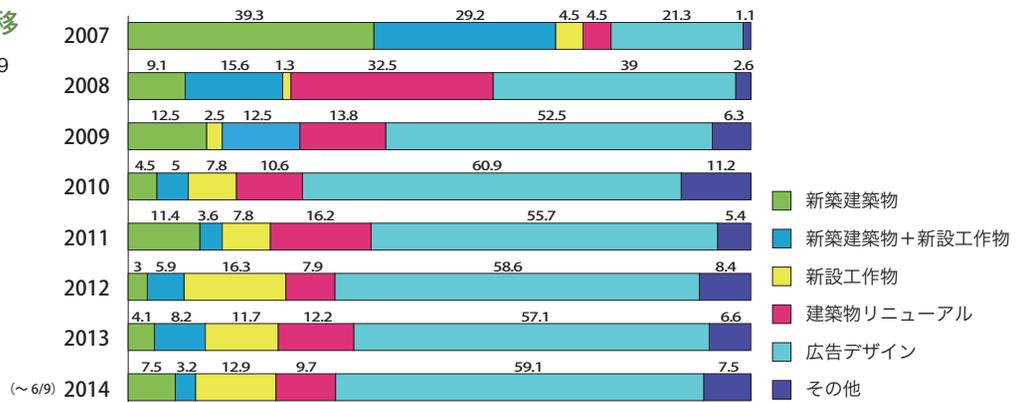
◆件数の推移

2006.11 ~ 2014.6.9



◆種別割合の推移

2006.11 ~ 2014.6.9



◆2004～2014に建て替えられた主な建築物



### 3)「銀座デザインルール」の充実化

2008年2月に、銀座まちづくりのあゆみ、銀座地区に定められたさまざまなルール（地区計画等）、銀座の都市デザインについての基本的な考え方を記した「銀座デザインルール」を発行しました。

2011年12月には、協議実績のなかで課題となったこと、銀座内エリアの特徴、協議事例等を充実させた第二版を発行しました。銀座デザイン協議会では協議事例をもとに常にルールを検討し更新し続けていますが、2013年1月には「音声についてのルール」（映像ビジョンに伴う音声は禁止する）を追加しました。（それに伴い、自発的に映像ビジョンを取り外してくださった事業者もございます。）



## 4) 行政との協議型まちづくりの推進

銀座では、銀座街づくり会議設立以前より、地域主体が中央区と協議しながら独自の地域ルール（地区計画「銀座ルール」や、駐車場「銀座ルール」）を定めてきました。その後も、銀座地区歩行者環境改善協議会等を行い、行政と地域が協議しながら地域ルールを定めたり、環境をよりよくするための議論を行っています。また、銀座街づくり会議・銀座デザイン協議会事務局と、中央区都市整備部・環境土木部担当者間では、日常的な情報交換と意見交換を行っております。

2013年からは、銀座の基幹交通システムが大きな課題となっています。銀座街づくり会議では「銀座モビリティ・デザイン研究会」を実施し、銀座交通ランドデザインを描きました。2014年度より、基幹交通システムについての中央区との協議が始まる予定です。

### 中央区との協議型まちづくり

#### ◆中央区+銀座街づくり会議「地区計画改正」協議会

〈2005年6月7日より、2006年9月2日まで〉

1998年に定めた地区計画「銀座ルール」を改正し、総合設計や特別区の例外なく銀座地区における建物の最高高さを56メートル（屋上工作物を含め66メートル）と決めました。また、地域が建物や広告デザインに対して事前協議する仕組みをつくりました（銀座デザイン協議会）

#### ◆中央区+銀座街づくり会議 銀座地区歩行者環境改善協議会

〈2003年度より、現在に至る〉

駐車場問題、違法駐輪や自転車にかかわる問題、歩行者にわかりやすい公共サインの問題などを話し合っています。

#### ◆その他、中央区各種委員会

### 東京国道事務所(国土交通省)との協議型まちづくり

#### ◆銀座通り景観検討委員会(銀座通連合会+東京国道事務所)

〈2002年度より、現在に至る〉

1968年（昭和43）に改修された銀座通りをより快適で美しい通りにするための協議をしています。2006年には国際コンペにより街路灯をリニューアルしました。現在、銀座通りの街路樹の検討を行っています。

銀座通連合会内部としても、街路樹の検討をすすめています。銀座では、来街者のおもてなしのため、四季の移り変わり（新緑、夏の木陰、紅葉、イルミネーション等）の感じられる樹種の検討と同時に、ちょっと休めるベンチなど、来街者が心地よく感じられる道空間づくりを考えています。

## 5) シンポジウム、まちづくりイベントの開催

その時どきのまちづくり課題をテーマとするシンポジウムを開催して啓発に努め議論の場としています。

2003年から現在までに28回のシンポジウムを開催していますが、毎回、銀座の方々を中心に100～300名が参加しており、延べ人数は4400名ほどとなります。専門家の方の講演をお聞きするだけでなく、銀座街づくり会議メンバーがパネリストとなって専門家に質問をしたり意見を述べ、銀座街づくり会議の方針をみなさんに伝えたりしています。さらにシンポジウムは参加する皆さんの意見を聞く場ともなっています。

また、銀座街づくり会議では、学生たちの銀座研究を支援しています。

### ■ シンポジウム開催記録

※登壇者肩書きは開催当時による

2003年

#### 1 銀座の街並みを考える—1 「街並みは銀座の財産」

基調講演「銀座の財産 -江戸・煉瓦街の街並み構造」  
岡本哲志（岡本哲志都市建築研究所）  
パネルディスカッション「銀座らしい街並みとは？」  
初田亨（工学院大学教授）、岡本哲志、小坂敬（銀座通連合会副会長）  
コーディネーター 陣内秀信（法政大学教授）  
2003年11月20日 場所：明治屋モルチェ 参加人数：約80名

2004年

#### 2 銀座の街並みを考える—2 「都市再生と銀座」

基調講演「都市再生とは何か」  
蓑原敬（都市プランナー、蓑原計画事務所）  
基調報告「都市再生法と銀座」  
吉田不曇（中央区企画部）  
パネルディスカッション「銀座にとっての都市再生とは？」  
蓑原敬、吉田不曇、陣内秀信（法政大学教授）、三枝進（銀座通連合会理事、ギンザのサエグサ）  
2004年2月4日 場所：GINZA TANAKA HALL 参加人数：約100名

#### 3 銀座街づくり会議発足記念シンポジウム 「都市の街並みと建築」

基調講演「都市の生活と建築」  
楨文彦（建築家、楨総合計画事務所）  
パネルディスカッション「銀座の街並みをどうつくるか」  
團紀彦（建築家、團紀彦建築設計事務所）、森まゆみ（作家）、  
三枝進（銀座通連合会理事、ギンザのサエグサ）  
コーディネーター 陣内秀信（法政大学教授）  
2004年5月24日 場所：銀座フェニックスプラザ 参加人数：約300名



#### 4 銀座の街並みを考える—3 「景観法と銀座」

報告 「景観法とはどういう法律か」  
岸田里佳子（国土交通省）  
基調講演「景観法と銀座」  
西村幸夫（東京大学教授）  
パネルディスカッション「銀座の景観と街のルール」  
西村幸夫、岸田里佳子、遠藤彬（銀座街づくり会議評議会議長、ハッコエンドウ）  
コーディネーター 倉田直道（工学院大学教授）  
2004年5月27日 場所：十字屋ホール 参加人数：約100名

これまでに開催したシンポジウムの記録は、ホームページでも公開しています。

銀座街づくり会議・銀座デザイン協議会 > イベント情報 > シンポジウム・勉強会 または 銀座デザインフォーラムシンポジウム  
<http://www.ginza-machidukuri.jp/event/>

- 5** 銀座街づくり会議シンポジウム **「世界都市のなかの銀座」**  
 基調講演「国際都市としての銀座の魅力」  
 リシャル・コラス（シヤネル）  
 パネルディスカッション「銀座-「本物」に出逢う街」  
 リシャル・コラス、大内順子（ファッション評論家）、  
 團紀彦（建築家）  
 コーディネーター 見城美枝子（青森大学教授、ジャーナリスト）  
 2004年10月21日 場所：ヤマハホール 参加人数：約300名



- 6** 銀座の街並みを考える—4 **「どう描く？ 銀座の将来像」**  
 問題提起「日本の都市、街、そして銀座がかかえる課題について」  
 袁原敬（都市プランナー）  
 ディスカッション  
 大野秀敏（東京大学教授）、大方潤一郎（東京大学教授）、  
 内藤廣（東京大学教授）、中井検裕（東京工業大学教授）、  
 倉田直道（工学院大学教授）、  
 岡本哲志（岡本哲志都市建築研究所）、  
 小林博人（小林・楨デザインワークショップ）  
 2004年10月23日 場所：十字屋ホール 参加人数：約120名



## 2005年

- 7** 銀座の街並みを考える—5 **「銀座への大いなる期待」**  
 基調講演「銀座への苦言と期待」  
 松葉一清（朝日新聞論説委員、建築評論家）  
 ディスカッション「銀座は期待にこたえているか」  
 松葉一清、  
 三枝進（銀座通連合会理事、ギンザのサエグサ）、菊地健容（銀座くのや）  
 司会 袁原敬（都市プランナー）  
 2005年5月30日 場所：教文館ウエンライトホール 参加人数：約120名

- 8** 商店街としての銀座を考える—1 **「にぎわいを呼ぶまちづくりとは？」**  
 基調講演「にぎわいを呼ぶまちづくりとは？」  
 宗田好史（京都府立大学教授）  
 パネルディスカッション「銀座のにぎわいをつくってきたものは何か」  
 宗田好史、渡辺敏幸（NTT都市開発）  
 渡辺新（銀実会理事長、壹番館洋服店）  
 コーディネーター 小林博人（慶應義塾大学助教授）  
 2005年8月3日 場所：教文館ウエンライトホール 参加人数：約120名

- 9** 銀座街づくり会議シンポジウム **「銀座-受け継がれる魅力」**  
 基調講演「銀座-パリ 街角の魅力」  
 岸恵子（女優、作家）  
 トーク「もっと輝かせたい、銀座」  
 岸恵子、陣内秀信（法政大学教授）  
 司会 阿川佐和子（エッセイスト、キャスター）  
 2005年11月17日 場所：ヤマハホール 参加人数：約500名



## 2006年

- 10** 銀座デザインフォーラムシンポジウム **「あたりまえのことですが……まちは人がつくる」**  
 基調講演「所作がまちをつくる」  
 山本益博（料理評論家）  
 パネルディスカッション「店の顔がまちをつくる ～モダン銀座のポストモダン」  
 山本益博、田中寛志（日本ディスプレイデザイン協会会長）、岡副真吾（金田中）  
 コーディネーター 山本豊津（全銀座会、東京画廊）  
 2006年11月2日 場所：ヤマハホール 参加人数：約250名

11

## 銀座街づくり会議シンポジウム 「協議型まちづくりとは? -銀座デザイン協議会設立にあたって」

基調講演 「街並みと建築デザイン」  
栗生明 (千葉大学教授)

報告 「協議型まちづくりによる魅力と活力の形成 -横浜」  
国吉直行 (横浜市都市整備局)

パネルディスカッション 「協議型まちづくりとは」  
栗生明、国吉直行、  
遠藤彬 (銀座街づくり会議評議会議長、ハッコエンドウ)  
コーディネーター 小林博人 (慶應義塾大学助教授)

2006年11月27日 場所: 銀座フェニックスプラザ 参加人数: 約150名



2007年

12

## 商店街としての銀座を考えるー2 「都市景観と広告デザイン」

基調講演 「銀座のドラマトウルギー -広告の銀座の舞台装置たりうるか」  
吉見俊哉 (東京大学大学院教授)

報告 「商業地における屋上広告の比較調査」  
田代雅明 (東京工業大学大学院修士課程)

パネルディスカッション 「銀座にふさわしい広告とは?」  
吉見俊哉、韓亜由美 (アーバンスケープ・アーキテクト)、  
板野達三郎 (社団法人全日本ネオン協会会長)、  
齋藤充 (全銀座会街づくり委員長、銀座千疋屋)、  
コーディネーター 小林博人 (慶應義塾大学准教授)

2007年9月10日 場所: 文祥堂イベントホール 参加人数: 約130名

13

## 銀座デザインフォーラムシンポジウム 「所作がまちをつくる」

基調講演 「銀座スタイル」  
嵐山光三郎 (作家)

パネルディスカッション 「劇場としての銀座」

第一部 「銀座らしさの演じ方」  
嵐山光三郎、渡辺新 (壹番館洋服店)、  
千谷美恵 (銀座いせよし)、  
三枝亮 (ギンザのサエグサ)

第二部 「街の景色をつくる」  
銀座アート・エクステンション・スクールの学生たち  
(女子美術大学、多摩美術大学、東京工芸大学、東京造形大学、日本大学芸術学部、武蔵野美術大学)  
コーディネーター 山本豊津 (全銀座会、東京画廊)

2007年10月30日 場所: 銀座フェニックスプラザ 参加人数: 約140名



2008年

14

銀座街づくり会議シンポジウム 慶應義塾大学銀座研究  
「旧木挽町の再発見-東銀座の将来像を考える」

基調講演 「旧木挽町とはどういう場所か-街のなりたちと性格」  
岡本哲志 (岡本哲志都市建築研究所)

発表 「東銀座のり・デザイン」  
慶應義塾大学小林研究室+小林博人 (慶應義塾大学准教授)

2008年9月25日 場所: 銀座会議室 参加人数: 約120名



15

## 銀座デザインフォーラムシンポジウム 「銀座文化の創造」

基調講演 「銀座劇場の演出」  
宮本亜門 (演出家)

パネルディスカッション 「銀座を大人の遊び場に」  
遠藤彬 (銀座街づくり会議評議会議長、ハッコエンドウ)、  
川口彰久 (ぜん屋)  
コーディネーター 山本豊津 (全銀座会、東京画廊)

2008年10月27日 場所: シテ・ドゥ・タン・ギンザ 参加人数: 約100名



## 16 銀座の街並みを考える—6 「地域ルールとデザイン協議」

基調講演「銀座のまちづくりの文化と精神」  
 福原義春（銀座通連合会会長、資生堂名誉会長）  
 パネルディスカッション「地域ルールの公共性」  
 野沢太郎（旧神戸居留地連絡協議会会長）、  
 中井検裕（東京工業大学教授）、  
 小林博人（慶應義塾大学准教授）  
 コーディネーター 蓑原敬（都市プランナー）  
 2008年12月8日 場所：紙パルプ会館会議室 参加人数：約190名

2009年

## 17 銀座デザインフォーラムシンポジウム 「編集者たちの見たGINZA」

パネルディスカッション「特集！銀座」  
 小松庸子（家庭画報（世界文化社）副編集長）、  
 温井明子（Grazia（講談社）編集長）、  
 山本由樹（STORY（光文社）編集長）、  
 北脇朝子（Hanako（マガジンハウス）編集長）、  
 西田善太（BRUTUS（マガジンハウス）  
 コーディネーター 山本豊津（全銀座会、東京画廊）  
 2009年10月30日 場所：銀座フェニックスプラザ 参加人数：約160名



2010年

## 18 銀座街づくり会議シンポジウム 「都市空間の活用」

基調講演「ヨーロッパの公共空間」  
 岡部明子（千葉大学准教授）  
 パネルディスカッション「街を生き生きさせる空間利用」  
 岡部明子、倉田直道（工学院大学教授）  
 司会 小林博人（慶應義塾大学准教授）  
 2010年2月19日 場所：銀座会議室 参加人数：約60名

## 19 銀座街づくり会議シンポジウム 「都市空間の活用2 —街のにぎわい、文化とまちづくり」

基調講演「街のにぎわい、文化とまちづくり」  
 高木茂（三菱地所株相談役）  
 ディスカッション  
 高木茂、小林博人（慶應義塾大学准教授）  
 2010年3月10日 場所：文祥堂イベントホール 参加人数：約90名

## 20 銀座街づくり会議シンポジウム 「都市空間の活用3 —銀座『微文化』」

研究発表「銀座『微文化』—イベント・商業構成・広告からみる銀座固有の文化へのアプローチ」  
 慶應義塾大学小林博人研究室  
 コメント 岡本哲志（岡本哲志都市建築研究所）、小林博人（慶應義塾大学准教授）  
 2010年3月29日 場所：文祥堂イベントホール 参加人数：約60名

## 21 銀座デザインフォーラムシンポジウム 「街は人を育てられるか —銀座の実験」

基調講演「銀座の価値とは？」  
 吉田不曇（中央区副区長）  
 パネルディスカッション「大学、銀座、そして世界へ」  
 飯村和道（女子美術大学教授）、岸本章（多摩美術大学教授）、  
 杉下哲（東京工芸大学教授）、地主廣明（東京造形大学教授）、  
 熊谷廣己（日本大学芸術学部教授）、楫義明（武蔵野美術大学教授）、  
 田中寛志（田中寛志デザイン事務所）、  
 伊藤明（全銀座会催事委員長、伊東屋）  
 コーディネーター 山本豊津（全銀座会、東京画廊）  
 2010年11月2日 場所：シテ・ドゥ・タン・ギンザ 参加人数：約160名



**22** 銀座デザインフォーラムシンポジウム 「新しい銀座のファンタジア～歌舞伎座の役割～」

基調講演「都市の祝祭空間」

隈研吾（建築家、東京大学教授）

パネルディスカッション「歌舞伎座の役割」

隈研吾、蓑原敬（都市プランナー）

コーディネーター 山本豊津（全銀座会、東京画廊）

2011年10月31日 場所：銀座フェニックスプラザ 参加人数：約170名

**23** 「銀座デザインルール」第二版 出版記念シンポジウム 「世界の潮流からみた『銀座のルール』」

報告 「事例の積み重ねによるデザイン協議-600件の実績をふまえて」

小林博人（慶應義塾大学准教授）、蓑原敬（都市プランナー）、

中島直人（慶應義塾大学専任講師）

基調講演「誰もが参加できる街づくり：世界の事例」

ディマ・クリスティアン（東京大学大学院先端科学技術研究センター特任研究員）

パネルディスカッション「国際的な視野から語る銀座のデザインルールと街の将来」

ディマ・クリスティアン、窪田亜矢（東京大学大学院准教授）、

竹沢えり子（銀座街づくり会議）

コーディネーター 小林博人

2012年3月23日 場所：教文館ウェンライトホール 参加人数：約150名

**24** 銀座街づくり会議シンポジウム 「国際観光都市としての<銀座>」

基調講演「東京のなかの<銀座>-観光都市としての位置づけ」

陣内秀信（法政大学教授）

基調講演「国際観光の可能性」

本保芳明（首都大学東京教授）

パネルディスカッション

陣内秀信、本保芳明、渡辺新（壹番館洋服店）

2012年7月11日 場所：シテ・ドゥ・タン・ギンザ 参加人数：約120名

**25** 銀座デザインフォーラムシンポジウム 「被写体としての<銀座>」

トーク 「被写体としての<銀座>」

斎藤利江（写真家）、山本豊津（全銀座会、東京画廊）

2012年10月30日 場所：銀座フェニックスプラザ 参加人数：約100名

**26** 銀座街づくり会議シンポジウム 「銀座のモビリティ・デザイン-銀座の交通を考える」

基調講演「銀座のモビリティ・デザイン」

中村文彦（横浜国立大学教授）

パネルディスカッション

中村文彦、吉田不曇（中央区副区長）

岡本圭祐（全銀座会街づくり委員長、銀座文明堂）

2013年5月21日 場所：銀座フェニックスプラザ 参加人数：約120名

**27** 銀座街づくり会議シンポジウム 「銀座の交通ランドデザインを考える」

基調講演「銀座の交通ランドデザインを考える」

中村文彦（横浜国立大学教授）

パネルディスカッション

中村文彦、中川大（京都大学教授）、吉田不曇（中央区副区長）

谷澤信一（銀座街づくり会議評議会議長、銀座タニザワ）

岡本圭祐（全銀座会街づくり委員長、文明堂銀座店）

2013年12月2日 場所：十字屋ホール 参加人数：約180名



2014年

28

## 銀座街づくり会議シンポジウム「銀座らしい広告とは? -銀座の街並み景観と広告デザイン」

基調講演「銀座らしい広告とは? -銀座の現状分析と海外事例」

西川潔 (筑波大学名誉教授)

パネルディスカッション「銀座の街並み景観と広告デザイン」

西川潔、小林博人 (慶應義塾大学教授)、岡本圭祐 (全銀座会街づくり委員長、文明堂銀座店)、

東條幹雄 (ワシントン靴店)

2014年7月11日 場所:銀座フェニックスプラザ

## ■ 学生イベント

## ◆銀座ストリート・スクーリング・プログラム(GSSP)

建築や都市デザインのゼミに協力を依頼し、そこで学ぶ学生たちに、銀座の街を歩き回ってもらい、調査・研究のうえ、提案をしてもらいました。

## 「発見! 銀座展 2005」 (2005.4.4~7)

参加大学:工学院大学、東京理科大学、明治大学

場所:ギンザコマツ AMUSER

## 「発見! 銀座展 2005-06」 (2006.2.27~3.2)

参加大学:慶應義塾大学SFC (小林博人研究室)、  
工学院大学大学院都市デザイン・スタジオ、  
工学院大学専門学校地域環境デザイン研究会、  
東京理科大学小嶋一浩研究室、  
明治大学大学院アーバンデザインスタジオ

場所:INAX銀座ショールーム



## 「発見! 銀座展 2008-09」 (2008.2.22-24)

参加大学:慶應義塾大学SFC (小林博人研究室)、  
慶應義塾大学大学院修士研究、  
慶應義塾大学大学院・応用環境デザインスタジオ

場所:教文館ウェンライトホール

## ◆宝童稲荷小路再生プロジェクト (2006.8.21~23)

銀座の路地に着目し、路地周辺の人たちへのヒアリングや話し合いを行いながら、美大生ならではの新しい路地空間のデザインと使い方を提案してもらいました。

参加大学:女子美術大学、多摩美術大学、武蔵野美術大学、日本大学芸術学部

場所:銀座並木ビル

## ◆GSデザインワークショップ「新陳代謝する銀座のデザイン」 (2013.12.5)

土木・建築・都市・造園を中心に、分野間のコラボレーションによる総合的な空間デザインを担える自在の育成を目的としたGSデザインワークショップが、銀座6丁目地区を設計対象地区としたことに協力しました。

場所:東京スクエアガーデン

#### ◆その他、卒業論文、修士論文、博士への協力

毎年数名の、銀座を対象地とする卒業論文、修士論文、博士論文の調査やヒアリングに協力しています。

#### ◆その他協力イベント

第24回世界建築会議（UIA）2011東京大会プレイベント（2011.5.31～6.3）

リトアニアの建築家と建築を学ぶ学生たちが、「Creation of Attractive "Ginza District" with New Urban Interventions 新しいデザイン戦略による魅力ある銀座の創造」をテーマに行ったワークショップ。

挨拶：小坂俊幸、齋藤充、竹沢えり子

講演 「日本の都市について」「今の銀座の街づくりについて」

荻原敬、小林正美、小林博人



## 6) 銀座内の勉強会

銀座内部向けの勉強会の開催、通り会・町会が行う勉強会の支援を行っています。

#### ◆「銀座のモビリティ・デザイン」勉強会

中央区では、臨海部の人口増加、築地の移転問題、晴海地区に予定されているオリンピックの選手村建設とその跡地利用等を前提に、都心と臨海部を結ぶ新しい基幹交通システムを検討しています。そのなかで銀座の内部にBRT（連節バス）を通すという案が浮上し、銀座ではそのルートをめぐる大議論となりました。また、銀座には他にも交通問題がたくさんあります。そこで、銀座街づくり会議では、銀座の交通はどのようにあるべきか、勉強会を行いました。そして、「銀座交通グランドデザイン」を発表しました（2013年12月2日、16ページ参照）。

ここでは、現状の交通課題を整理したうえで、銀座の交通における優先順位は、①歩行者、②公共交通、③自転車、④自動車、とし、基幹交通システムとしてBRTではなくLRTを導入することを提案しています。さらに、ルート案を提示しました。

講師：中村文彦（横浜国立大学教授）

勉強会：第1回 2013. 7.25 参加人数13名

第2回 2013. 8.23 参加人数17名

第3回 2013. 9.25 参加人数25名

第4回 2013.10.29 参加人数41名

銀座交通グランドデザイン発表 2013.12.2

2014年度からは、銀座の交通について、中央区との協議が始まります。

## ◆西並木通り会勉強会

- 1 アメリカ・オレゴン州ポートランドの事例より、銀座西並木通りへの提言 (2011.10.21)  
「ポートランド流“歩行者を楽しませる道づくり”」  
渡辺義之 (ZGF建築事務所アソシエイト)  
「人と街と商いのリンケージによる都市のにぎわいづくり」  
松本大地 (商い創造研究所)
- 2 アメリカ・オレゴン州ポートランド視察旅行 (2012. 10.18-22)
- 3 報告会「ポートランドから学んだこと」 (2013.2.26)



## ◆銀座塾の開催

世代交代のすすむ銀座の若手経営者を対象に、銀座の先輩方のお話を聞く講座と、銀座の歴史や街づくりの経緯をテーマにした銀座の基礎的な知識を学ぶ講座の2種類を行っています。

## ◇先輩方のお話を聞く講座

- 1 菊地泰司 (銀座くのや会長) 2008.9.30 カフェ・サンク
- 2 茂登山長市郎 (サンモトヤマ会長) 2008.10.21 交詢社
- 3 三枝進 (ギンザのサエグサ会長) 2008.11.25 交詢社
- 4 福原義春 (資生堂名誉会長) 2009.2.24 資生堂パーラー
- 5 遠藤彬 (ハッコエンドウウェディングス社長) 2013.6.20 資生堂パーラー
- 6 小坂敬 (小松ストアー社長) 2013.10.1 小松バー

## ◇銀座の基礎的な知識を学ぶ講座 場所：銀座通連合会会議室

- 1 「銀座の歴史を学ぶ」 竹沢えり子 2013.5.9
- 2 「銀座のルールを学ぶ」 川島理恵子 (中央区都市整備部) 2013.6.4
- 3 「銀座の街の構造を学ぶ」 岡本哲志 (岡本哲志都市建築研究所) 2013.7.1
- 4 「さまざまな顔をもった銀座-明治時代の銀座の住民」  
野口孝一 (中央区文化財調査指導員) 2013.9.18
- 5 「『銀座デザインルール』を読み解く」 小林博人 (慶應義塾大学教授) 2013.11.7



## 7) 年次報告会

毎年の活動内容を、アドバイザーの先生方から全銀座会に対して報告し、課題を出していただいています。2010年からは、デザイン協議会に申請された案件のレビューを行い、課題を抽出しています。

銀座通連合会総会の後に行われる報告会は、地域外の人にもお知らせしていますが、銀座内の方を中心に、毎回150人前後が参加します。

2005年1月21日

「銀座にふさわしい空間とは？ -考えよう。21世紀・銀座のまちづくり」

報告：蓑原敬（都市プランナー）、小林博人（慶應義塾大学教授）、  
倉田直道（工学院大学教授）、岡本哲志（岡本哲志都市建築研究所）、  
遠藤彬（銀座街づくり会議評議会議長、ハツコエンドウ）

場所：京橋プラザ

参加人数：約140名



2005年2月2日

「銀座にふさわしい空間とは？ -考えよう。21世紀・銀座のまちづくり」

報告：小林博人

場所：銀座通連合会会議室

10時半、12時半、14時半、16時半、18時半、20時半からそれぞれ1時間ずつ、計6回。

参加人数：約70名

2006年5月23日

「協議型まちづくりをめざして-地区計画「銀座ルール」をより生かすために」

報告：蓑原敬、小林博人

場所：銀座フェニックスプラザ

参加人数：約220名

2007年5月21日

「銀座デザインガイドラインづくりに向けて」

報告：蓑原敬、小林博人

場所：銀座フェニックスプラザ

参加人数：約190名

2009年5月22日

「協議型街づくりとこれからの課題」

報告：蓑原敬、小林博人

場所：銀座フェニックスプラザ

参加人数：約120名



2010年5月24日

「銀座デザイン協議会-デザインレビュー」

報告：蓑原敬、小林博人

場所：銀座フェニックスプラザ

参加人数：約150名



2011年6月13日

「『銀座デザインルール』改訂に向けて+デザインレビュー 2011」

報告：蓑原敬、小林博人

場所：銀座フェニックスプラザ

参加人数：約150名



2012年6月11日

「銀座街づくり会議の課題-次のステップに向けて+デザインレビュー 2012」

報告：蓑原敬、小林博人、中島直人（慶應義塾大学専任講師）

場所：銀座フェニックスプラザ

参加人数：約120名



2013年6月12日

「銀座街づくり会議の課題とビジョン+デザインレビュー 2013」

報告：蓑原敬、小林博人、中島直人

場所：銀座フェニックスプラザ

参加人数：約120名



2014年6月9日

「銀座街づくり会議の10年 そしてこれからの銀座+デザインレビュー 2014」

報告：蓑原敬、小林博人、中島直人

パネルディスカッション：蓑原敬、小林博人、中島直人、

岡本圭祐（全銀座会街づくり委員長、文明堂銀座店）、

三枝亮（全銀座会情報委員長、ギンザのサエグサ）

場所：銀座フェニックスプラザ

参加人数：約200名



これまでに開催した報告会の記録は、ホームページでも公開しています。

銀座街づくり会議・銀座デザイン協議会 > イベント情報 > 報告会

<http://www.ginza-machidukuri.jp/event/backnumber02.html>

## 8) 銀座文化の啓発

地区計画「銀座ルール」においては、特別区や総合設計等の例外なく、建物の最高高さは56メートル（屋上工作物を含め66メートル）と定められていますが、昭和通り沿道以東（旧木挽町地区、3ページ参照）では「文化等の維持・継承に寄与する」大規模開発であれば、高さの例外を認めることになっているため、では、銀座にふさわしい文化とは何かということが、まちづくりの大きな課題となっています。

銀座街づくり会議では、江戸時代には芝居町であり現在は歌舞伎座があり、また花柳界のある旧木挽町地区からの文化発信を促進し、歴史に根差した文化を育てるための活動の一環として、また将来の国際観光資源とすべく、「新富座こども歌舞伎」の上演を行っています。

さらに、住友不動産様のご協力を得て、銀座8丁目汐留浜離宮ビル内に、地域のためのスペース「銀座室」を設け、和の文化のおけいごとやおもてなし研修の場として活用しています。

### ◆「新富座こども歌舞伎」の上演

第1回（Ginza International Week）

演目「口上」「寿式三番叟」「白浪五人男 稲瀬川勢揃の場」

日時 2012年10月13日 第一部13時30分～、第二部15時30分～

ゲスト 矢田美英（中央区長）、中村福助（歌舞伎俳優）

場所 中央区立泰明小学校特設舞台

第2回（オータムギンザ）

演目「口上」「三人吉三巴白浪 大川端庚申塚の場」「白浪五人男 稲瀬川勢揃の場」

日時 2013年10月27日 第一部13時～、第二部15時～

ゲスト 矢田美英（中央区長）、中村芝雀（歌舞伎俳優）

場所 中央区立泰明小学校特設舞台



「新富座こども歌舞伎」泰明小学校公演の様子



◆銀座室



銀座室 三味線の稽古の様子



銀座室 おもてなし研修学会の様子

9) 銀座内外への広報活動

◆ホームページ

ホームページでは、銀座街づくり会議・銀座デザイン協議会設立の趣旨・経緯・目的を紹介するほか、日常の活動を発信しています。また、銀座デザイン協議会の申請方法、協議方法の案内もしており、ホームページから直接申請ができるようになっています。



銀座街づくり会議ホームページ、トップページ



イベントページ

## ◆ニュースレター一覧

ニュースレターは、IT環境の整わない通り会・町会にも対応できるよう、また受け取ってすぐにコピーして配布できるよう、A4用紙1枚・ファックス送信（希望者にはメール送信）を原則として、随時発行しています。また、ホームページでも公開しています。

00	銀座街づくり会議発足で記念シンポ	(2004.5.28)
01	街づくり会議発足シンポジウム開催される「都市の街並みと建築」	(2004.6.7)
02	街づくりワークショップが始まります	(2004.6.28)
03	銀座6丁目再開発事業についてのミーティング	(2004.7.23)
04	これからの銀座らしさのために	(2004.9.8)
05	シンポジウムを開催します！	(2004.9.21)
06	銀座街づくりワークショップ・中間報告	(2004.10.16)
07	街づくりシンポジウム「世界都市のなかの銀座」-銀座のアイデンティティを生かしたまちづくりを	(2004.11.2)
08	地元自らが将来像を選択するとき	(2004.11.12)
09	銀座6丁目地区街づくり協議会とのミーティング	(2004.12.14)
10	銀座にふさわしい空間とは？ 考えよう。21世紀・銀座のまちづくり	(2004.12.22)
11	銀座にふさわしい空間とは？ 考えよう。21世紀・銀座のまちづくり2	(2005.1.25)
12	地区計画との整合性に配慮/銀座街づくり会議が中間報告	(2005.1.28)
13	知っていますか？ 地区計画「銀座ルール」	(2005.1.31)
14	銀座の将来を考えるベースになるものは？	(2005.2.2)
15	銀座特有の街区構成が、銀座らしさをつくっている	(2005.2.4)
16	銀座の「にぎわい」と「風格」をつくりあげてゆくためには	(2005.2.8)
17	中間報告会-皆さんからの意見	(2005.2.18)
18	銀座ストリート・スクーリング・プログラム	(2005.3.2)
19	屋上工作物の高さ制限は？	(2005.4.1)
20	学生の手で将来像提案	(2005.4.5)
21	中央区と協議会が始まります	(2005.4.25)
22	銀座の意志とは何か	(2005.6.9)
23	銀座のかかえる課題とは？	(2005.6.20)
24	シンポジウムを開催します	(2005.7.4)
25	にぎわいを呼ぶまちづくりとは？	(2005.8.9)
26	中央区+銀座街づくり会議 協議会第2回が開かれました！	(2005.8.26)
27	銀座はどういう土地利用制度で成り立つ街なのか-地区計画と都市再生	(2005.9.27)
28	「銀座-受け継がれる魅力」シンポジウム	(2005.10.3)
29	第3回中央区+銀座街づくり会議 協議会-銀座まちづくりデザインガイドラインにむけて	(2005.10.18)
30	銀座-受け継がれる魅力	(2005.11.28)
31	第4回中央区+銀座街づくり会議 協議会-ルール化の方針を検討する	(2005.12.20)
32	全銀座会にて中間報告-区道つけかえについての議論	(2006.1.20)
33	2006年2月8日 大規模開発案提示される	(2006.2.14)
34	銀座ストリート・スクーリング・プログラム 2005-06	(2006.2.21)
35	銀座の将来・学生ら提案	(2006.2.28)
36	区は「銀座ルール」を見直しへ	(2006.4.28)
37	協議型まちづくりをめざして	(2006.5.11)
38	協議型まちづくりをめざして2	(2006.6.1)
39	第7回中央区+銀座街づくり会議 協議会-「銀座デザインガイドライン」の作成へ	(2006.7.3)

40	あたりまえのことですが……まちは人がつくる	(2006.10.3)
41	新しい地区計画「銀座ルール」が施行されました	(2006.10.17)
42	協議型まちづくりとは? -銀座デザイン協議会設立に向けて	(2006.11.6)
43	11月は2つのシンポジウムが開催されました	(2006.12.7)
44	三越増床計画	(2007.2.22)
45	銀座デザインガイドラインづくりに向けて	(2007.6.6)
46	広告とは、街の公共メディアである	(2007.9.27)
47	嵐山光三郎氏「銀座スタイル」を語る	(2007.11.29)
48	銀座ストリート・スクーリング・プログラム 2008-09	(2008.2.18)
49	銀座ストリート・スクーリング・プログラム 2	(2008.2.28)
50	「銀座デザインルール」ができました	(2008.3.10)
51	「銀座ルール」デザイン版	(2009.5.15)
52	エリアごとの個性を生かしたまちづくりとは?	(2008.8.28)
53	旧木挽町の再発見 東銀座の将来像を考える-学生たちの提案	(2008.10.23)
54	銀座文化の創造	(2008.11.17)
55	地域ルールとデザイン協議	(2008.12.18)
56	歌舞伎座建て替え計画	(2009.1.26)
57	協議型街づくりとこれからの課題	(2009.6.8)
58	編集者たちの見たGINZA	(2009.11.26)
59	都市空間の活用	(2010.4.12)
60	銀座デザインレビュー Vol.1	(2010.5.31)
61	大規模開発計画の現状をお知らせします	(2010.9.10)
62	銀座6丁目計画・全銀座会と銀座通連合会に説明	(2010.9.30)
63	街は人を育てられるか-銀座の実験	(2010.12.7)
64	駐輪場を利用しましょう	(2011.2.24)
65	「銀座デザインルール」改訂に向けて+デザインレビュー 2011	(2011.6.20)
66	銀座6丁目計画「都市計画提案」される	(2011.8.26)
67	新しい銀座のファンタジア-歌舞伎座の役割	(2011.11.14)
68	新しい「銀座デザインルール」ができあがりました	(2012.1.10)
69	世界の潮流からみた「銀座のルール」	(2012.4.10)
70	銀座街づくり会議の課題-次のステップに向けて+デザインレビュー 2012	(2012.7.19)
71	GINZA-TOKYO 国際観光都市としての<銀座>	(2012.9.5)
72	新富座子ども歌舞伎+被写体としての銀座	(2012.11.15)
73	銀座における音声について、銀座の方針をまとめました	(2013.2.25)
74	「銀座らしさ」音も節度を	(2013.4.2)
75	銀座の交通を考える	(2013.6.25)
76	銀座の交通ランドデザインを描くための勉強会が始まりました	(2013.8.30)
77	中央区とともに、交通ランドデザインを描き、銀座基幹交通システムの実現を	(2013.12.11)
78	交通問題への取り組み/日本都市計画学会石川賞受賞!	(2014.4.24)
79	銀座街づくり会議の10年 そしてこれからの銀座+デザインレビュー 2014	(2014.6.30)

ニュースレターはホームページでも公開しています。

銀座街づくり会議・銀座デザイン協議会 > ニュースリリース > ニュースレター

<http://www.ginza-machidukuri.jp/activity/newsletter.html>

## 10) 各地域視察・講演、取材等

### ◆視察受入れ

- 浅草・槐の会 (2006.9.4)
- 大阪ミナミオンリーワンプロジェクト (2007.11.29)
- 大田区役所 (2008.2.19)
- 心斎橋筋まちづくり推進協議会 (2008.9.2)
- 博多まちづくり推進協議会 (2012.2.28)
- 松山商工会議所 (2012.6.6)
- 新宿区都市計画部 景観と地区計画課 (2012.8.23)
- 名古屋駅地区街づくり協議会 (2013.2.18)
- 中国世界貿易センターを主体とする中国産業界を代表する企業 (2013.5.23)
- 御堂筋まちづくりネットワーク (2013.5.24)
- 他多数

### ◆各地域・団体からの招聘

- 船場フォーラム2005 岡本哲志 (岡本哲志都市建築研究所) (2005.5.23)
- 船場フォーラム2006「地域と大学による連携まちづくりを現場から考える」菊地健容 (2006.3.25)
- 「美しい国・美しい都」は道から創る-青山通りからの提言」※ (2006.11.12)
- 新宿歌舞伎町勉強会「銀座のまちづくり」※ (2006.11.28)
- 東京商工会議所コミュニティ再生委員会「中央区銀座におけるまちづくり」※ (2006.12.19)
- 日本専門店協会・秋の大会 特別講演「街の魅力=店の魅力」遠藤彬※ (2006.秋)
- 船場フォーラム2007「柔らかな連携まちづくり」※ (2007.3.17)
- 大丸有「公的空間管理・利活用フォーラム」※ (2008.1.15)
- 大阪商工会議所※ (2008.2.18)
- 熊本日専連※ (2008.6.21)
- ジャパンエリアマネジメント「地域ルール勉強会」※ (2008.7.30)
- 上海Foebes講演会「銀座のまちづくり」遠藤彬 (2008.9.25)
- 二子玉川まちづくり協議会準備会「二子玉川の明日を考える-他地区の取り組みに学ぶ-銀座の事例」※ (2009.3.15)
- 横浜市「横浜駅周辺大改造計画」※ (2009.6.30)
- 札幌駅前通協議会「銀座のまちづくり」※ (2009.12.9)
- 中央区女性センター「まちづくりと女性の参画」※ (2010.2.3)
- 静岡呉服町名店街※ (2010.3.5)
- (財)都市づくりパブリックデザインセンター「銀座の景観まちづくり」※ (2010.6.30)
- 札幌南一条地区開発推進協議会勉強会「銀座まちづくり-マネジメントと新たな動向」※ 倉田直道 (工学院大学教授) (2011.11.16)
- 高松市「たかまつ美しいまちづくりシンポジウム」※ (2012.1.22)
- 中央区区民カレッジ『銀座からのイベント発信』山本豊津※ (2012.10.23)
- 中央区郷土天文館『ふたつの銀座復興』※ (2012.11.18)
- 大丸有エリアマネジメント協会「環境まちづくりフォーラム2012 in Tokyo」※ (2012.12.4)
- 帯広市商店街振興組合連合会女性部「都市は舞台 ハレの街・銀座」※ (2013.1.30)
- Japan Shop 2013「賑わいと集客力に溢れる街の魅力を生む戦略と東京の実験」※ (2013.3.6)
- 中央区女性センター「銀座のまちづくりにおけるアートの位置」※ (2013.7.3)
- 日本建築美術工芸協会25周年記念景観シンポジウム『21世紀の歌舞伎座と銀座』※ (2013.7.31)
- 東京銀座ロータリークラブ「銀座まちづくりのこれから」※ (2013.10.9)
- 国際女性建築家会議日本支部「銀座のルール」※ (2014.3.8)

※印は竹沢

## ◆主な雑誌掲載

- 特集「街を味わい、人と知りあう 銀座の70話」『東京人』no.208 (2004.11.3)
- 「銀座の旦那衆が困惑する 超高層ビル計画の行方」『Yomiuri Weekly』(2005.6.5)
- 特集「変わる銀座・日本橋界限-超高層ビル化の是非」遠藤彬・兼松孝次・三枝進・菊地泰司・武田徹也『地域開発』vol.491 (2005.8.1)
- 特集「ギンザとシモキタに見る 地区まちづくりの課題」『季刊まちづくり』14号 (2007.3)
- 「21世紀のランドスケープ・エコロジー 都市の空間を活かす」『Nelsis ネルシス』Vol.8 (2007.10.25)
- 「規制とルールによる景観形成の意義と課題」『日本不動産学会誌』No.86 (2008 Vol.22 No.3)
- 「デザインする街-過去と未来を繋ぐ繁華街〈銀座〉」吉田不曇・竹沢えり子・遠藤彬・福原義春・服部禮次郎『INAX REPORT』No.178 (2009.4)
- 鼎談「都市開発と文化・景観保護」遠藤彬・西村幸夫・岡部明子『City in City』VOL.22 (2010.10)
- 「エリアマネジメントとまちづくりの未来」『Jurist』No.1429 (2011.9.15)
- 「銀座デザインルール」『市街地再開発』2011 (2011.9.25)
- 座談会「エリアマネジメント型のまちづくり」『再開発コーディネーター』156 (2012.3.15)
- 「銀座の街に新たなにぎわいが生まれる」『東京人』2013.5
- 『OPINION+』2013.冬
- 『月刊ギャラリー』2014 Vol.1
- 「銀座の街づくりから考える」蓑原敬『季刊まちづくり』42号 (2014.4.15)
- 他多数

## ◆主なテレビ出演および制作協力

- 「特報首都圏」(NHK 2004.12.17)
- 「財部ビジネス研究所」(BS日テレ 2012.8.26)
- 「首都圏スペシャル“おもいで映画館”」(NHK 2013.9.27)
- 「昭和は輝いていた」(BS-JAPAN 2014.1.21)
- 「おはようニッポン“けさのクローズアップ”」(NHK 2014.6.10)
- 他多数

## ◆主なラジオ出演

- 「ハートフルライフ プレミアム・トーク」(ニッポン放送 2013.3.16)
- 「Jam the world」(J-WAVE 2013.4.30)
- 「blue ocean「銀座美人」」(TOKYO FM 2013.10.21、23、2014.4.28、29)
- 他多数

## ◆関連図書

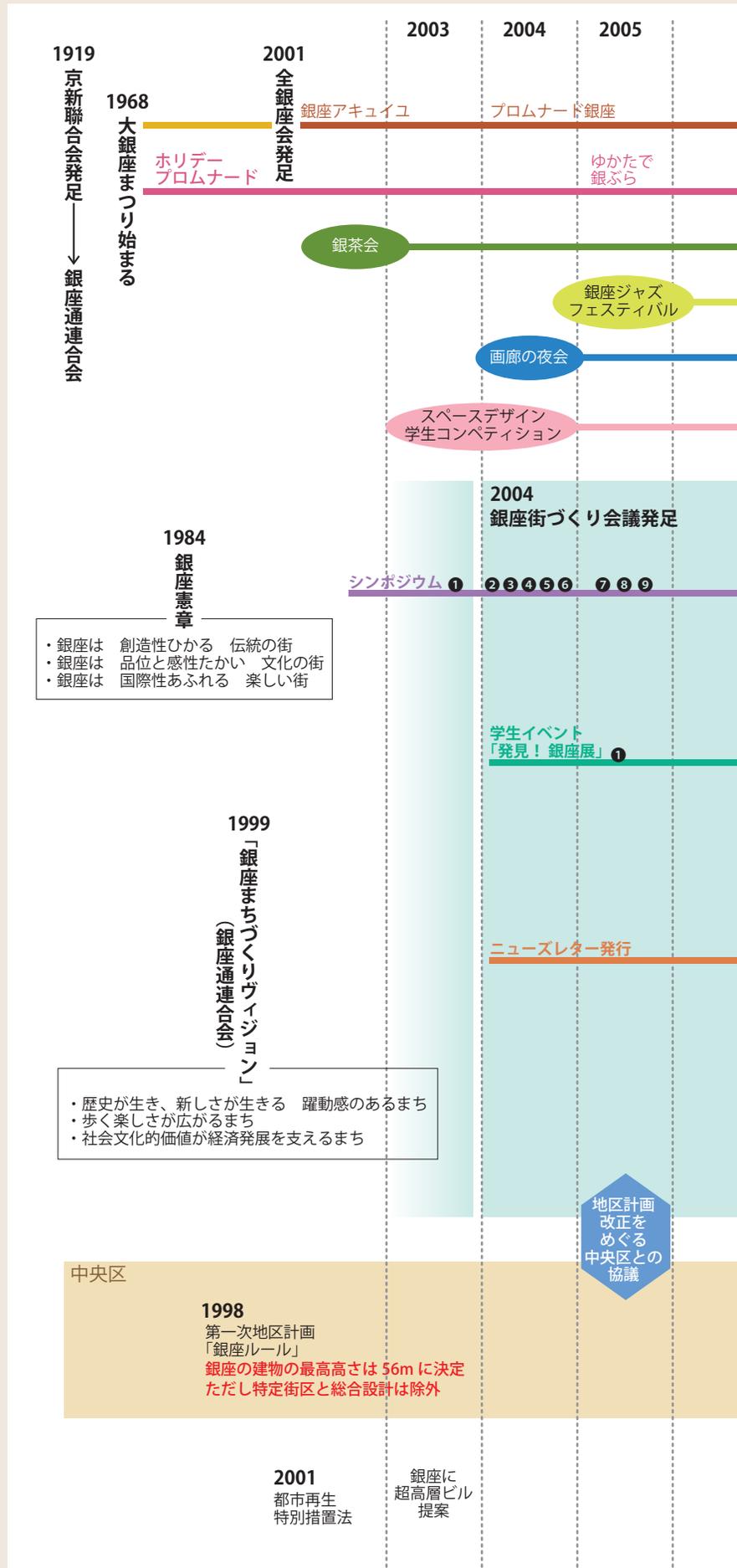
- 三枝進他『銀座 街の物語』河出書房新社、2003年
- 小林英嗣編『地域と大学の共創まちづくり』学芸出版社、2008年
- 日本建築学会編『成熟社会における開発・建築規制のあり方』技報堂出版、2013年
- 竹沢えり子『銀座にはなぜ超高層ビルがないのか』平凡社新書、2013年
- 蓑原敬・中島直人他『これからの日本に都市計画は必要ですか』学芸出版社、2014年
- 他多数

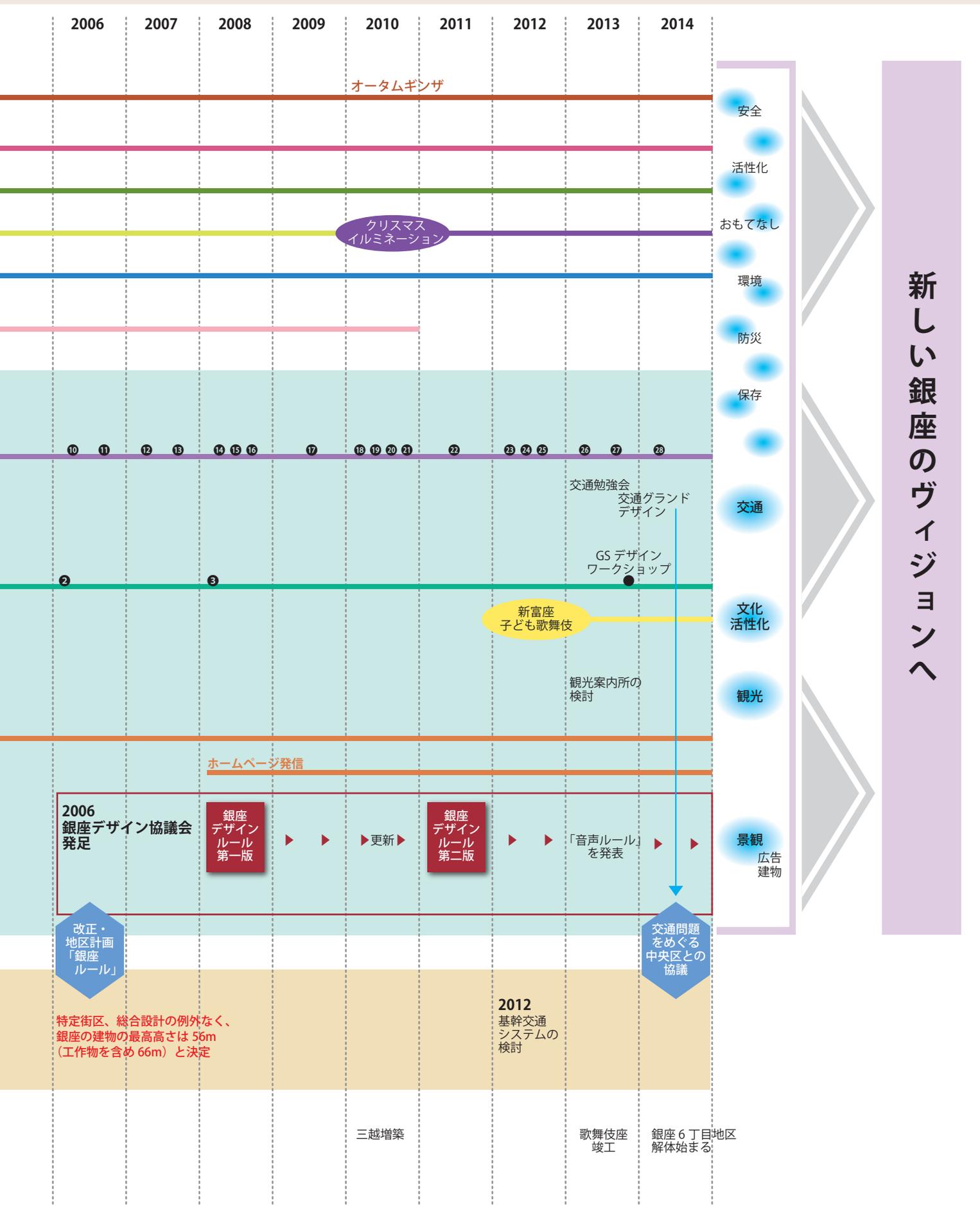
## ◆その他

- Web「広告月報」(朝日新聞広告局 2013.6.17)

# 銀座まちづくりの主な歩み

- 1919(大正8) 銀座通り沿道住民により京新联合会として発足  
 1932(昭和7) 第1回銀座柳まつり  
 1946(昭和21) 銀座復興祭  
 1968(昭和43) 銀座通り大改修  
 第1回大銀座まつり(～1999年)  
 1984(昭和59) 銀座憲章制定  
 ・銀座は 創造性ひかる 伝統の街  
 ・銀座は 品位と感性たかい 文化の街  
 ・銀座は 国際性あふれる 楽しい街  
 1997(平成9) 銀座の公式ホームページ開設  
 1998(平成10) 「機能更新型高度利用地区」を銀座に導入  
 (建物の容積率を緩和し建て替えを促進)  
 地区計画「銀座ルール」を導入(中央区)  
 1999(平成11) 「銀座まちづくりビジョン」発表  
 (銀座通連合会80周年記念事業)  
 ・歴史が生き、新しさが生きる躍動感のあるまち  
 ・歩く楽しさが広がるまち  
 ・社会文化的価値が経済発展を支えるまち
- 
- 2001(平成13) 全銀座会発足  
 銀座通り景観整備検討委員会発足(国土交通省)  
 銀座アキュエユ開催(～2003年)  
 2003(平成15) 集約駐車場制度と銀座地区交通改善協議会の  
 発足(中央区)  
 銀座地区に大規模開発計画が浮上し始める  
 2004(平成16) 銀座街づくり会議発足  
 プロムナード銀座開催(～2009年)  
 2005(平成17) 中央区とともに地区計画「銀座ルール」の見直  
 し始める  
 2006(平成18) 地区計画「銀座ルール」改正(中央区)  
 銀座デザイン協議会設立  
 銀座通り照明デザイン国際コンペ開催される  
 (国交省)  
 2008(平成20) 「銀座デザインルール」第一版発行  
 銀座街づくり会議ホームページを立ち上げる  
 2009(平成21) 銀座地区歩行者環境改善協議会発足(中央区)  
 2010(平成22) 銀座通連合会は一般社団法人となる  
 三越増床により街区の一部一体化  
 銀座初の公共駐輪場設置  
 AUTUMN GINZA 開催(～現在)  
 2011(平成23) 銀座の公式ホームページ「GINZA Official」と  
 してリニューアル  
 「銀座デザインルール」第二版発行  
 2012(平成24) 銀座通りにフリーWi-Fi「G Free」が導入さ  
 れる  
 中央区地域公共交通会議始まる(中央区)  
 2013(平成25) 「音声についてのルール」を発表  
 銀座通り街路樹検討始まる  
 歌舞伎座竣工  
 交通問題勉強会の開催。銀座の交通ランド  
 デザイン案を発表  
 2014(平成26) 銀座街づくり会議・銀座デザイン協議会は、  
 日本都市計画学会石川賞を受賞





# 新しい銀座のヴィジョンへ

## 2014年度評議会名簿

---

代表	古屋勝彦（銀座通連合会会長 ㈱松屋名誉会長）
副代表	小坂俊幸（銀座通連合会副会長 小坂不動産㈱代表取締役社長）
評議会議長	谷澤信一（全銀座会代表幹事 銀座通連合会理事長 ㈱銀座タニザワ代表取締役社長）
評議会副議長	岡本圭祐（全銀座会副代表幹事 全銀座会街づくり委員長 銀座通連合会副理事長 ㈱文明堂銀座店会長）
評議員	遠藤 彬（銀座通連合会副会長 ㈱ハツコ エンドウ ウェディングス代表取締役社長） 谷 善樹（全銀座会副代表幹事 銀座西並木通り会会長 ㈱三笠会館代表取締役会長） 水原麟太郎（銀座あづま通り名店会会長 水原商事㈱代表取締役社長） 九鬼悦子（銀座 6 丁目町会会長 有岩崎眼鏡店代表取締役社長） リシャール・コラス（銀座通連合会国際ブランド委員会メンバー代表 シャネル㈱代表取締役社長） 関口佐俊（全銀座会広報委員長 銀座通連合会常務理事 ㈱資生堂総務部長） 高橋 純（銀座通連合会常務理事 銀座 4 丁目銀友会会長 ㈱高橋洋服店代表取締役社長） 齋藤 充（全銀座会幹事 銀座通連合会副理事長 ㈱銀座千疋屋代表取締役） 菅原健一（銀座 5 丁目ソニー通り町会会長 ソニー企業㈱代表取締役社長） 帯刀保憲（全銀座会・銀座通連合会古屋勝彦会長代理 ㈱松屋常務執行役員） 武田徹也（銀座 4 丁目東町会副会長 京橋四之部町会街づくり委員長 三幸地所㈱代表取締役社長） 炭谷太郎（(一財)交詢社常務理事） 渡辺 新（㈱壹番館洋服店代表取締役社長） 東條幹雄（㈱ワシントン靴店代表取締役社長） 三枝 亮（㈱ギンザのサエグサ代表取締役社長） 亀岡正博（全銀座会副代表幹事 2014年度銀実会理事長 有並木ビル取締役） 堀田峰明（銀実会 ㈱ホッタ代表取締役社長）

### ご協力いただく専門家

蓑原 敬（都市プランナー、蓑原都市計画事務所）  
小林博人（慶應義塾大学教授、小林・横デザインワークショップ）  
中島直人（慶應義塾大学准教授）

全銀座会 國平與四雄（事務局長）

### 銀座街づくり会議

竹沢えり子（事務局長）  
黒田麻実子

---

銀座街づくり会議・銀座デザイン協議会は、  
2013年度日本都市計画学会石川賞を受賞しました。

## 受賞理由

我が国の代表商業地である中央区銀座地区では、建築物の機能更新と長年にわたり培われた銀座らしさの継承という二つの課題の中で、銀座の街並みのあり方をめぐり活発な議論がなされてきた。こうした重要課題に地域として主体的に取り組むため、街づくりの専門家などの協力を得て、銀座街づくり会議と銀座デザイン協議会が設立され、両組織が中心となって他に例を見ない独創的な活動が展開されている。

銀座街づくり会議では、行政・専門家などと連携しながらシンポジウムやニューズレターなどの啓発活動を精力的に行い、地域主体のオープンな議論を通じて街づくりの意識を高め、銀座の将来像の共有化を図るとともに、これを深化させてきた。特に、超高層ビルの建設構想に対し地域の議論を尽くし、地区計画に基づく銀座通りなどの高さのルールを基本的に維持するとの決定を行ったことは、地域にとって大切な街並み景観は自分たちで創り上げていくという強い意志に基づくものであり、その主体的な選択は大いに評価することができる。

銀座デザイン協議会は、街並みを自ら守り創っていかうとする地域の意識の高まりを背景に、銀座デザインルールを作成し運用してきた。この取り組みは基準への適合を機械的に求めるのではなく、文言で表されたデザインコンセプトに基づき、協議会と建設者側との協働作業によって銀座らしさを高めるデザインにしていこうとするものである。これまでに約1000件にも上る数多くの案件にきめ細かく対応し、銀座にふさわしい景観デザインの誘導に大きな成果をあげてきた。この取り組みにより「銀座らしさ」の意味を探りながら銀座地区全体の空間の質を高めることに大いに寄与するとともに、将来像の議論にも反映させ街づくりを一層柔軟性ある持続可能なものとしている。

このような先進的かつ独創的な街づくりの取り組みと成果は、今後の成熟社会における地域主体の街づくりの範となり、今後の我が国の都市計画の発展に大きく寄与するものと考え、石川賞に値すると判断された。

# 銀座まちづくり・これからの課題

銀座街づくり会議10年の活動のなかで、さまざまな課題が浮かび上がってきています。対処しなくてはならないことは日々、たくさんありますが、銀座街づくり会議が取り組むべき当面の大きな課題は、以下のとおりと考えています。

## ◆交通：銀座モビリティデザインを描き、実現への道筋をつけること

銀座は、お買物にいらしたお客様が、ゆったりと安心して安全に、快適に歩くことを楽しんでいただきたい街です。来街者の方々をおもてなしし、満足いただくためには、歩くための環境づくり、歩行者と公共交通・自転車・自動車との関係をどうつくるかを真剣に考えていく必要があります。

銀座街づくり会議は2013年度、地上のにぎわいが連続するような「銀座の交通ランドデザイン」を発表しました。2014年度からは、中央区と交通問題についての協議が始まります。交通は、銀座の人達の意味だけで解決・実現できる問題ではありません。中央区ほかとの「協議型」で、銀座が商業地としていっそう発展できるような、交通まちづくりをめざします。

## ◆観光：増加する国内外観光客のおもてなし

世界各国からの観光客が増加しています。銀座の街全体として観光に取り組むため、観光案内所の設置をめざしています。また、わかりやすいサインや地図も観光の重要な要素です。

## ◆建物：竣工後の建物のデザイン協議

銀座デザイン協議会は、建物を建てる前にファサードデザイン等を協議する仕組みです。しかし竣工後、実際に入居するテナント等によりデザインが変化する場合があります。また、ファンド型のビジネスモデルによって、建物の運営会社が変わるケースも増えてきました。そのようなケースに対応できるよう、竣工後も協議を継続できるようにしていきます。

## ◆広告：広告デザインの考え方

銀座デザイン協議会では、設立以来、約1,120件の案件に対応してきました。そのなかで半数以上を占めるのが、広告のデザイン貼り替えの協議です。

昨今、技術の発達とともに、デジタルサイネージや巨大なプリント、立体的な表現等、さまざまな表現方法が用いられ、かつ内容変更も簡単にできるようになり、建築物で構成された街並み景観に大きな影響を与えかねない広告が増えています。

「銀座デザインルール」では、画一的な規制や決まりはつくっていませんが、以上のような状況をふまえ、広告であふれた街並みをどのように銀座らしく整理していくかが大きな課題となっています。銀座の文化でもある広告が、今後の銀座においてどうあるべきか、銀座らしい広告とはどのようなものなのか、考え方をつくっていきます。

#### ◆財源：まちづくり財源の検討

銀座街づくり会議・銀座デザイン協議会の財源は、全銀座会の会費に依っています。しかしながら全銀座会の活動は街の安全・安心のための活動、清潔を保つための活動、イベント開催等、多岐にわたり、会費のみではたいへん不安定な状況にあります。これらの活動の財源確保は、銀座全体の大きな課題です。

たとえば、街として広告収入を得る方法の検討、海外に倣って銀座版BID（Business Improvement District）の検討などをすすめていきます。

以上の課題は、すぐに解決できることではありません。銀座がいつまでも銀座らしくあり続け、そして商業地として繁栄し続けることができるよう、銀座のあるべき理想をしっかりと持ちながら、皆で共有し、実現への道筋を、そのプロセスも大切にしながらつくっていきます。

---

銀座街づくり会議  
銀座デザイン協議会

#### ◆ 事務局 ◆

東京都中央区銀座 4 丁目 6 - 1  
銀座三和ビル 3 F 〒104-0061  
TEL 03-3567-1535  
FAX 03-3563-0236  
E-mail info@ginza-machidukuri.jp  
WEB www.ginza-machidukuri.jp  
© 銀座街づくり会議

2014年7月11日

---

制作協賛・一般財団法人交詢社

2004--2014

